

JAISE: Japan Association for International Student Education

留学生教育学会

Newsletter

第 52 号 2017 年 5 月

事務局: 〒151-0053 東京都渋谷区代々木 1-58-1 石山ビル 6 階

公益社団法人東京都専修学校各種学校協会内

TEL: 03-3378-9601 FAX: 03-3378-9625 E-mail: office@jaise.org

[ホームページ <http://www.jaise.org>]

2017 年度最初のニュースをお届けします。第 22 回研究大会と JAISE 奨励賞・功労賞の募集についてお知らせいたします。本年度も充実した活動を続けていきたいと思っております。会員の皆様へは、研究大会へのご参加をお願いいたします。

I. 巻頭言

会長 近藤 佐知彦 (大阪大学)

このたび会長の重責を野水勉先生から引き継ぐことになりました。若輩者・未熟者ではありますが、国立大学・公立大学・私立大学・専門学校・日本語学校等において、留学生に関わっておられるみなさま、そしてその他の場で留学生・留学交流のために尽力しておられる方たちと一緒に仕事ができるのを楽しみにしております。どうかよろしく願いいたします。

本学会は留学生関連業務に従事する教職員のスキルアップなどを主目的として 1996 年に発足したと承知しています。歴代会長・理事会の下で学会は発展し、現在本学会に集まるメンバーの関心や職務内容は、いわゆる相談業務やアドバイジングにとどまらず、日本語教育・異文化間教育・外国人対象の専門教育・教育政策・短期留学企画や就職なども含めた企業との連携、そしてその後に繋がる移民政策などに多様化して参りました。一部メンバーは海外学位審査・留学の効果調査などで活発な研究活動を展開し、行政などに対する発信も活発です。また大学に限らず専門学校・日本語学校の関係者が活発に参加されているのも本学会のユニークな点でしょう。志を共有する人々が集い、機関や制度の壁を越え、オールニッポンで留学交流環境整備に取り組む専門家集団へと成長しつつあります。

その一方でみなさまと共有したいのは、専門家としてのキャリア形成に向けて、学会は会員に対して何がお手伝い出来るのかを、これを機に再考していきたいという問題意識です。各種学会は専門分野を細分化していくことで参加者の専門性を高めていくのが通例です。その一方本学会は、様々な問題が交錯する「留学生」というテーマについて、様々な属性を有するプロフェッショナルが集まってタブーなく議論を深めているところに特色があります。メンバーシップや関心分野を限定することで専門性を高めていくギルド型集団ではなく、多彩な専門家や実践者が交錯・交流・情報交換の中で新たな専門分野を創造していく、門戸を大きく開いた大同団結型のアプローチが本学会の目指すところだと信じています。その先には、留学生や学生交流に関連する複雑な知見を体系化し「留学生教育学」もしくは「留学生学」を創造することまで考えても良いのではないのでしょうか。近い将来において、社会運営および若年人口減少に伴う学校経営のカギとなるであろう「留学交流活性化」を担う専門家集団として私たちのプレゼンスをあげ、その業務を社会的に「見える化」し、後進を育てていくことが求められているように思います。

身の丈に合わない「夢」を語らせて頂きました。

どうか皆様のご協力をよろしくお願い申し上げます。

II. 2016 年度留学生担当教職員研究分科会の開催報告

世話人代表 宮崎悦子（金沢大学）

2016 年度の留学生担当教職員分科会を 2017 年 3 月 10～11 日に立命館大学衣笠キャンパスで開催した。テーマは「シリーズ・キャンパスグローバル化への挑戦：ムスリムの留学生と家族支援を考える～キャンパス内外の多文化環境整備の課題～」であった。本テーマを選んだ理由は、2000 年代後半から留学生の国籍の多様化が進む中、宗教・言語・文化的多様性に対応したキャンパス内外の物理的空間・設備や、多様性を尊重し支える具体的サービス・システムに注目する必要があると考えたからである。

初日は①「対話を通して進めるキャンパスの多文化環境整備～名古屋大学の 25 年を振り返り、つなぐ～」(名古屋大学国際教育交流センター・田中京子氏)、②「滞日ムスリム留学生・家族の生活と宗教的ニーズ」(京都イスラーム文化協会アカデミック・アドバイザー、立命館大学非常勤講師・小杉麻李亜氏)、③「ムスリム学生支援：立命館の現状と挑戦課題」(立命館大学国際部 BKC 国際課課長・亀田直彦氏) の 3 つの講演が行われた。

田中氏は、2000 年代以降、ムスリム学生会など学生会の組織化・公認化に取り組み、安心して礼拝できる場所の確保やハラール食・ベジタリアン食の提供などを、学内外の様々な関係者と対話して相互理解を深めながら、理解者を増やしながらか進めていると述べた。小杉氏は、イスラームの原理や文化的知見および在日ムスリム留学生の最近の傾向や彼らとの付き合いのコツなど、幅広い内容について述べた。(例：イスラーム教では「衣食住＝宗教そのもの」であるためこだわりが強く、礼拝場所やハラール食が無いと生活が阻害される) 亀田氏は、立命館アジア太平洋大学において氏がこれまで実践してきた地道かつダイナミックな活動を紹介した。「大学がわからないことは留学生に聞け」という精神で、ハラールメニューのレシピも留学生との協働作業で作成し、「学生が学内外で人と交わりあっているか」が多文化環境の整備や留学の「成功の肝」と述べた。

二日目は、本テーマに関わる以下の 4 つの報

告が行われた。①「岡山大学におけるムスリム留学生と家族支援の実践報告」(岡山大学・宇塚万里子氏)、②「金沢大学におけるムスリム留学生と家族支援」(金沢大学・宮崎悦子)、③「日本の大学への留学が予定されているマレーシア人ムスリム学生を対象としたアシミレーター作成とその回答結果の分析」(クアラルンプール大学・仙石祐氏)、④「キャンパス(学)と社会(産・官・地)の連携が実現する多次元型外国人留学生支援」(関西大学・古川智樹氏、池田佳子氏)

これらの 7 本の報告は、それぞれ地域や検討対象が異なったものではあったが、「キャンパス内外の多文化環境の整備は、関係者が共に語り合いながら、探索しながら、多文化協働で、一緒に少しずつでも行動することが大切」ということを示しており、本分科会はこの点の重要性が確認できた機会となった。

日本は、他の先進国と比べ、地政学的そして歴史的な経緯によって人種的・文化的・宗教的に多様に乏しい環境にある。しかしながら、そんな中漸増する外国人数は、私たちに「日本人の生活や教育を目的に作られた地域や学校の既存の施設・サービス・機会を、どのような方法で、何をどう変えて、資源配分をし、多文化環境を構築・改善していくかを考えるべき」と迫っているのではないだろうか。

『キャンパスの国際化と留学生相談』(大西晶子著 p221) に「学生の多様性に対応するためにサービスのあり方を検討していく作業は『キャンパスの国際化』のプロセスそのものである」とある。多様な文化的背景を持つ留学生やその家族のために、各教育機関でサービスのあり方が検討され、様々な取り組みがなされているが、そこでどのような課題を抱え、どのように対処しているのかを今後も本分科会で学び合いたい。

最後になったが、本分科会のために尽力してくださった受付・総務担当世話人の鈴木雅久氏(横浜国大)と会場担当世話人堀江未来氏(立命館大)に心から感謝申し上げたい。

Ⅲ. 第22回研究大会のお知らせ

第22回研究大会及び総会は、2017年8月17日（木）～19日（土）に開催いたします。皆様のご参加、ご発表をお待ちしております。今回は、「アジア太平洋大学交流機構（UMAP）国際会議」と共同乗り入れ開催を予定しています。プログラム等詳細決まり次第 Newsletter、ホームページ、ML等にてお知らせいたします。

なお、開催期間がお盆の時期と重なるため、新幹線・特急・飛行機などの交通機関ならびに宿泊施設についてはお早めにご検討ください。

研究大会スケジュール 【予定】

テーマ	アジア・太平洋からの留学生獲得と留学生交流（仮称）	
共催	留学生教育学会（JAISE） 東洋大学	
後援	特定非営利活動法人 JAFSA（国際教育交流協議会） 公益社団法人東京都専修学校各種学校協会	
会場	東洋大学 白山キャンパス（東京都文京区白山 5-28-20） http://www.toyo.ac.jp/	
日程	2017年8月17日（木）	UMAP 国際会議
	2017年8月18日（金）	UMAP・JAISE 共同シンポジウム（英語） 通常シンポジウム（日本語）
	2017年8月19日（土）	総会・一般発表・ワークショップ 特別国際セッション

Ⅳ. メーリングリストをご活用ください

会員相互の情報交換ツールとして是非ご活用ください。現在月2～7 通ほど配信されています。メールが届いていない場合はご一報ください。

送信先メールアドレス **ml@jaise.org**

[ご注意ください]

事前にお知らせいただいているメールアドレス以外からの投稿はできません。

MLからのメールに返信すると全会員に配信されます。

ファイル添付やHTML形式での送信はできません。テキスト形式で配信ください。

Ⅴ. JAISE 奨励賞・功労賞・優秀論文賞について

2017年度 JAISE 奨励賞及び功労賞を自薦・他薦問わず募集中です。

同封の募集要項及び申込書・ホームページをご確認のうえ、ご応募ください。

「優秀論文賞」については前年度学会誌に掲載された論文等の中から選定されます。受賞した方は、奨励賞・功労賞と同様に、研究大会にて表彰いたします。

VI. 名誉会員の推薦について

2015年度の総会にて承認された名誉会員について募集します。学会HPのダウンロードサイトから要項を確認いただき、申請ください。締切までに推薦のあった名誉会員候補について理事会で確認の上、8月の総会で承認されます。名誉会員は、承認以降の年度の年会費を免除し、本会主催の研究大会・分科会等会合の参加費が減免されます。学会誌は配布されず、電子ファイルによるニュースレターの受信を受けることができます。詳細は同封した要項をご確認ください。

2017年度分名誉会員の推薦締切；2017年6月30日（金）

VII. 事務局より

1. 年会費のご請求について

過日ご請求をさせていただいておりますのでよろしくお願いたします。
当学会の会計年度は会則により毎年4月1日～翌年3月31日です。

2016年度から年会費が変更となっております

会員	一般	学生	機関	海外
入会金	2,000円	1,000円	2,000円	無料
年会費	7,000円	4,000円	30,000円	3,000円

※2年間未納の場合は、自動的に退会扱いとなります

2. 会員数（2017年5月20日現在）

一般327、学生70、海外25、機関24 計446

3. 新入会員のお知らせ [2016年4月～入会順]

○一般会員（敬称略）			
川出 深雪	東京経営短期大学	饗場 淳子	東京外国語大学
富田 高嗣	長崎外国語大学	平田 真理子	日本文化教育学院
BABALOLA Micky Amune	広島大学	浅井 尚子	拓殖大学
塚田 麻美	愛知大学	渡部 逸平	株式会社星野リゾート
武田 雅史	東京国際大学	佐藤 仁美	学校法人三井学園武蔵浦和日本語学院
高向 有理	西日本短期大学	○海外会員	
永岡 悦子	流通経済大学	伊藤 由美子	クアラルンプール大学
田村 一也	一般社団法人日本国際化推進協会	渡利 正弘	Yayasan Pelajaran MARA
石井 誠	宇都宮共和大学	○学生会員	
林 淑子	早稲田大学	于 凌越	東北大学
萩原 幸司	東京福祉大学・大学院	小林 元気	佛教大学
佐藤 綾	福井大学	SHEKARABI ZEINAB	広島大学
木下 博子	九州大学	アルタンホール	昭和女子大学大学院
谷口 吉弘	平安女学院大学	佐野 彩子	一橋大学大学院
寅丸 真澄	早稲田大学	迫 こゆり	岡山大学大学院
作田 奈苗	東京外国語大学	郷司 寿朗	広島大学